

## 1 治安情勢

2016年1月から4月のチリ国警察の犯罪分析課統計の結果、総被害認知件数は前年比0.3パーセント減少しました。罪種別で見ると、現行犯逮捕を含むひったくり事件が前年比7.9パーセント減少、傷害事件が同比8.9パーセント減少したものの、強盗事件は同比7パーセント増加しています。また、発生場所としても首都圏の家庭侵入による窃盗事件が前年比3.9パーセント減少し、事務所やATM機設置場所等の人が居住していない場所における窃盗事件も同比0.4パーセント減少しています。

昨年から強盗盗においても銃器を使用したり、集団で暴行を加える等の凶悪な犯罪が目立ち始めています。関係当局も強盗の手段がより凶悪になっていると言及しています。上記のように強盗事件以外は減少と数値的には出ていますが、凶悪な犯罪が多くなり、また、邦人被害も増加していることから、決して治安情勢が改善されているとは言えない状況であります。

## 2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 4月2日(土)午前3時40分頃、サンティアゴ市の病院内に8人組の強盗が侵入し、6階に設置してあるATM機から現金を奪おうとしたが失敗して逃走した。

(2) 4月24日(日)午後8時15分頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区のショッピングモール内の宝石店に強盗が押し入り、警備員に負傷を負わせて宝石を奪って逃走した。

(3) 5月1日(日)午後4時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区の店舗に3人組の強盗がベンツと四駆2台で乗り付け、四駆の車で金属扉を破壊して店内に侵入し、数分で店内の商品を奪い逃走した。

(4) 5月21日(土)、バルパライソ市の国会から9ブロック離れたバルパライソ市役所の支所が入ったビルの1階の薬局店に対し、国会に対する抗議デモに参加していた複数の者が侵入し、略奪行為後火炎瓶を使用して放火したため市役所の警備員1名が死亡した。

(5) 6月1日(水)午後11時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区のショッピングモール1階に設置されたATM機を、盗難車で乗り付けた5人組の武装強盗がガスを充満させて破壊し、現金を奪った。駆けつけた警備員4名のうち消火器で抵抗しようとした警備員1名が犯人に発砲され死亡した。

(6) 6月2日午後8時30分頃、サンティアゴ市ペーニャロレン区の大学内の食堂に設置されたATM機を、4人組の強盗がガスを充満させて破壊し、現金を奪って逃走した。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

認知事件なし。

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

6月7日(火),マイポ市ブイン区(サンティアゴ南部)において,両親が2歳の子供と歩いていたところ,見知らぬ女が母親に気分が悪くなる液体をかけ,父親に対し「子供を渡さないと母親を殺す」と脅迫し,子供を連れ去ろうとした。

### 5 対日感情

特段の動向はないものの,引き続き我が国捕鯨調査,イルカ漁に対する抗議行動が行われる可能性が十分にある。

### 6 主な邦人被害

(1) 4月1日(金)夜,邦人男性がサンティアゴ市内においてタクシーに乗車したが車内で眠ってしまった。降車して気付いたところ腕時計とズボンにコードでつなげていた携帯電話がコードを切られて盗まれていた。

(2) 4月2日(土)午後2時頃,邦人男性旅行者がビーニャ・デル・マルからアントファガスタまでのバスの車内において,車内に置いておいたパスポート等在中のバッグをトイレ休憩のため降車した数分間に盗難に遭った。

(3) 4月2日(土)午後5時頃,邦人男性旅行者がサンペドロ・デ・アタカマからビーニャ・デル・マルまでのバスに乗り,途中アントファガスタのバスターミナルの休憩所にて軽食を取っていたところ,男から「コインが落ちているよ。」と声を掛けられた。それを拾っている隙に横に置いていたカバンが別のカバンにすり替えられていた。

(4) 4月16日(土)午後2時半頃,邦人女性がサンティアゴ市ラス・コンデス区のショッピングモールで買い物中,英語で話しかけられた隙にカバンのジッパーを開けられ,財布をスリ盗られた。

(5) 4月17日(日)午前11時頃,邦人男性がサンティアゴ市フロリダ区で買い物をしている間に,停めていた車のガラス窓を割られて中に入れていたパスポート等在中のカバンを盗難に遭った。

(6) 4月18日(月)午後10時頃,邦人男性がサンティアゴ市ウエチュラバ区のホテルにスタッフを送り,車に乗ろうとしたところ,ホテル駐車場入り口付近にあった4人位が乗車した車から1人降車し近寄ってきて,両手をポケットに入れたまま凶器を所持している素振りで脅迫して車を奪って逃走した。

(7) 4月19日(火)午後11時30分頃,ビオビオ州の邦人男性が徒歩にて

帰宅途中、反対側から歩いてきた男女カップルの男性からすれ違いざま顔面を殴られた。逃げようとしたところ、その数メートル先に別の男女カップルがいて、その男に胸ぐらを捕まれたことから自分の財布を投げ出したところ、胸ぐらの手が離れた隙に走って逃げた。

(8) 4月20日(水)午前0時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区において邦人男性が徒歩にて帰宅途中、3人の男に不意に殴られ、羽交い締めにされ、スタンガンで脅されてカバンを奪われた。犯人は30歳位で特に悪人には見えなかったが、灰色のBMWで逃走した。

(9) 4月21日(木)午後8時頃、邦人男性旅行者がカラマ市のバスターミナルにおいて、警備員を装った者に荷物を移動させられ、そのまま持ち去られた。

(10) 4月28日(木)午後1時頃、邦人男性旅行者がサンティアゴ市ラス・コンデス区のレストランで食事中、椅子の肘掛けに掛けておいたウエストポーチからパスポート、財布を盗まれた。

(11) 5月2日(月)午後3時頃、邦人男性旅行者がアントファガスタのバス停において、バスの乗務員を装った男に座席の移動を命じられ、手荷物は棚の上に置くように言われた。その男が毛布や枕の準備を終えて立ち去った後、棚の上を見たら手荷物がなくなっていた。

(12) 4月30日(土)から5月9日(月)までの間、サンティアゴ市内において邦人男性のデビットカードがスキミング被害により計10回不正に引き出されていた。デビットカードはATM機でしか使用したことがなく、首都圏地下鉄1号線の駅に設置されたATM機を使用したときにスキミングされたと思われる。

(13) 5月11日(水)、邦人女性がサンティアゴ市ラス・コンデス区の首都圏地下鉄近くの喫茶店内で食事中、横の座席の上に置いておいたカバンの中から財布のみをスリ盗られた。

(14) 5月18日(水)午後9時頃、邦人女性がサンティアゴ市プロビデンスシア区のショッピングモールで買い物中、商品を手にとって確認したところ財布等在中のカバンを掛けたベビーカーとの間に3人が立ち、塞がれた感じになった。その後カバンを確認したところ財布がなくなっていた。

(15) 5月20日(金)午前7時半頃、邦人女性旅行者が母親とともにアントファガスタ市のバスターミナルでカバンをベンチに置いて、反対側のスーツケースを見ている間にカバンを置き引きにあった。

(16) 6月1日(水)未明、サンティアゴ市の邦人企業事務所に外周のフェンスを破壊し、建物の玄関の鍵を破壊して侵入し、テレビやノートパソコン等を盗み逃走した。

(17) 6月1日(水)午後1時頃、邦人男性が首都圏地下鉄5号線車内において、バケダノ駅において乗客が多く乗車してきてもみくちゃになったところ、ポケ

ットに入れておいた携帯電話をスリ盗られた。

(18) 6月5日(日)午後0時頃, 邦人男女旅行者がサンティアゴ市のアルマス広場付近において, 邦人女性の方がケチャップ様の液体をかけられた。それを鳥の糞だと言って近づいてきた女性に近くの教会に連れて行かれ, ティッシュや水を渡され拭いている隙に, 邦人女性の荷物をまとめて入れておいた邦人男性のパスポート等在中のリュックサックが盗られていた。

(19) 6月6日(月)午後2時頃, 邦人男性旅行者がサンティアゴ市のアルマス広場内を歩いていたところ, 何者かにソースを肩に付けられた。臭かったので脇道でリュックサックを降ろして, 通行人からもらったティッシュで拭いている隙にパスポート等在中の同リュックサックを盗まれた。